

# 茶畑 *SR times*

発行元 宮城県仙台第一高等学校 1 学年学術研究委員会

## 《防災講演会》

11 月 13 日に行われた防災講演会では、イコールネット仙台の代表理事である宗片恵美子さんに来ていただき、大変貴重な話を聞くことができました。男女共同参画社会の実現のために活動されている宗方さんですが、今回は防災の面で女性の力を生かすことの大切さについて講演してくださいました。

## 「災害に強い地域づくりをめざしてー防災・減災に女性の力を生かす」

男女共同参画の視点から防災や復興支援に取り組むというテーマで話していただきました。

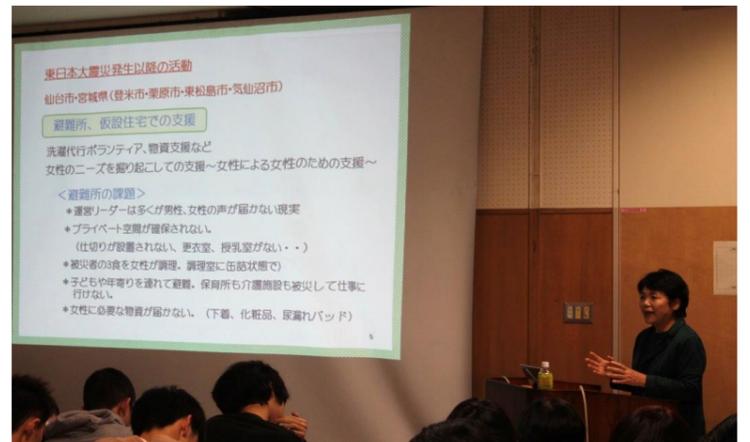
2011 年の東日本大震災では、特に避難所や仮設住宅で生活していた女性たちから災害時の課題が挙げられました。

- ・運営リーダーのほとんどが男性・必要な物資が届かない
- ・プライベート空間がない・仕事がなく、子供や高齢者を連れてくる etc.

また支援する側にも回りたかったという声も上がったようです。宗方さんの調査では、85%の女性が復興計画議論に女性の参画が必要だと答えました。

さらに課題として浮き彫りになったのは、地域間の日頃からのコミュニケーション不足や防災訓練の不足でした。そこでイコールネット仙台では、女性のための防災リーダー養成講座を実施しました。その規模は拡大しており、今では中高生も参加しているそうです。例えば、それぞれの地域の防災計画作り・避難所ワークショップなどです。このようにして防災リーダーのネットワークは、全国に広まりつつあるそうです。

宗片さんは最後に、こうした活動をしていく中で最も大事なことは、取り残され、犠牲になる人を作らないことだとおっしゃっていました。



### 以下、生徒の感想を一部抜粋して掲載しております。

- ・私の地域では小学校の時から地域と学校が連携した防災訓練を行っていたため、被災した時に男女問わず協力し、リーダーになることができると思っているが、高校に入学して、周辺の地域との関わりがないように感じ不安になった。地域に根ざした行事を行い、コミュニティネットワークを深めていくべき。
- ・私は震災当時家で過ごしたので、避難所の状況について詳しくはわからなかったが、支援を必要としている人には様々な形があって、それぞれに対応しなければならないのは、支援する方の負担も大きいと感じた。私たちは東日本大震災という大きな災害を乗り越えた経験をそのままにせず、宗方さんのように次に起こる災害のための教訓にしなければならないと思った。
- ・宗方さんの“女性から”というボランティア活動は素晴らしいと思うが、普段「洗濯するのは女性」というのが事実(=現状 ※引用者注)である。普段から男性も育児や介護に積極的に参加する社会であれば、被災地でも“男性の役割”“女性の役割”がはっきり分けられてしまうことはないのではないか。

## 《二華高校SGH公開研究発表会》

10月30日に仙台二華中・高等学校で開かれた公開研究発表会で、一高を代表して73回生の生物実習班の中から6つの班が研究を発表しました。今回の研究発表会では、一高以外の高校の発表も行われたため、高校間の交流や、互いに学びあう機会としてとても良いものとなりました。

### 『発表班』

- ・2組 21班 「フナムシの行動調査 ～交替制転向反応はいつでもおこるのか？」  
岩倉 郁, 奥山 岳, 奥山 虎太郎, 金沢 建人, 菅野 航平
- ・3組 33班 「ヒトデに『慣れ』は存在する？」  
二瓶 祐綺, 高橋 和真, 高橋 慎之介, 南條 千駿, 橋本 滉也, 服部 真知
- ・4組 48班 「海藻の色の違いが生む影響とは」  
渡辺 愛菜, 宮下 有沙, 真壁 萌海, 水野 星月, 宮川 あすか
- ・5組 57班 「イシダタミは暗いところと明るいところどちらに集まるのか」  
本郷 香連, 早坂 茉夏, 千代窪 美帆, 中山 佳蓉子, 別所 茜香
- ・7組 78班 「海藻の色々 ～チョーククロマトグラフィーによる色素の展開～」  
中村 天海, 村井 彩珠, 永倉 茉弥, 堀切 萌生
- ・8組 88班 「フジツボの生息地」  
山崎 結子, 吉田ひかり, 都築 れんげ, 長谷川 沙羅, 早川 乃愛



### 以下、発表者の感想を掲載しております。

今回のSGH研究発表会は自分たちの発表を通じて他校生徒や先生方と考えを共有でき、とても身になる時間を過ごせた。発表をすることで自分たちのやった事を周りに発信できるというのはとても楽しいものだと感じた。また一高では「発表への質問は礼儀」と言われ、一高内での発表は聞く側からの質問は当たり前だったが、校外で発表してみるとなかなかそのようにスムーズにも行かずやりにくさを感じることもあった。しかし、今回の発表で受けた質問や、他校生徒の発表は私たちのやった分野以外からの視点を持っていて、それらを聞くのはとても興味深いものだった。様々な視点を知ることができ、いい経験になったと思う。

(8組 吉田ひかり)

## 《編集後記》

今回の学術研究を通じて、防災講演会では、女性の社会進出という大きな話題の具体的な一面に触れ、SGHでの発表会では、発表者の方は他校の発表などを通じて新たな視点を見つけることができたかと思います。この経験を忘れずに、物事に対して多角的に見るように意識していきましょう。